

「NCD Japan Forum 2013 ～世界の NCD 対策に対する日本の役割とは～」

日本医療政策機構では 2011 年より、循環器疾患・慢性呼吸器疾患・糖尿病・がん・メンタルヘルスを対象とし、NCD（慢性疾患）対策推進を支援しています。

高齢化等を背景に NCD に対する医療費が高騰するなか、今後は個々の疾病への治療・対策だけではない新しい戦略が求められています。そこで日本医療政策機構では、NCD Allianceⁱをはじめ国内外の関係者と協力し、NCD に関する国際的な知見を共有・議論できる場「NCD Alliance Japan」を設立しました。NCD Alliance Japan は、各疾病に関わるマルチステークホルダーとの議論を通じて、包括的・疾病横断的な NCD 対策の推進に寄与することを目指しています。

今回のフォーラムでは、NCD 対策における日本の強みを明らかにし、今後日本が、世界の NCD 対策にどのように貢献できるかを議論します。

ぜひ、ご参加ください。

フォーラム概要

- 日時：2013 年 11 月 30 日（土）10：00～12：30
- 会場：アカデミーヒルズ タワーホール B（東京都港区六本木 6-10-1）
- 参加予定者：関連省庁関係者、各国大使館関係者、医療従事者、医療健康関連を中心とした企業、医療政策・慢性疾患対策の専門家、主要メディア、ジャーナリストなど
- お申込み：http://hgpi.org/report_events.html?article=278
（日本医療政策機構ウェブサイトよりお申し込みください）
- プログラム： ※敬称略
 1. 開会の辞（10：00～10：05）
 - 黒川 清（日本医療政策機構 代表理事）
 2. 【セッション1】NCD 分野における日本の強み、強みを活かした国際展開（10：10～10：55）
日本の NCD 関連施策を振り返り、国際展開に活かせる日本の強みを探る
 - 小沼 士郎（外務省国際協力局国際保健政策室 室長）
「日本の皆保険制度の海外展開の可能性（仮）」
 - 近藤 達也（独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA） 理事長）
「レギュラトリーサイエンスの国際調和（仮）」
 - 藤本 康二（内閣官房健康・医療戦略 室参事官）
「日本政府による NCD 対策の国際展開（仮）」
 3. 【セッション2】グローバルレベルで NCD 対策に貢献するために（11：00～11：45）
海外における日本発の NCD 対策の成功事例を紹介し、成功の秘訣や課題を明らかにする
 - 澤 芳樹（大阪大学心臓血管外科教授）
「日本の再生医療の海外展開（仮）」
 - 野木森 雅郁（アステラス製薬株式会社 会長、日本製薬工業協会 副会長）
 - 藤原 康弘（国立がん研究センター 乳腺・腫瘍内科企画戦略局長）
「日本のがん医療の海外展開（仮）」

お問合せ先：特定非営利活動法人日本医療政策機構

Tel: 03-5511-8521(代) Fax: 03-5511-8523、e-mail: info@hgpi.org（担当：小山田、窪田）

4. 【パネルディスカッション】世界のNCD対策に対する日本の役割（11：50～12：20）

セッション1、セッション2での議論を踏まえ、今後の世界のNCD対策において日本が担うべき役割は何か、そして日本の知見をどのように活用すべきかを議論する

- 小沼 士郎（外務省国際協力局国際保健政策室 室長）
- 近藤 達也（独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）理事長）
- 澤 芳樹（大阪大学心臓血管外科教授）
- 野木森 雅郁（アステラス製薬株式会社 会長、日本製薬工業協会 副会長）
- 藤本 康二（内閣官房健康・医療戦略室 参事官）
- 藤原 康弘（国立がん研究センター 乳腺・腫瘍内科企画戦略局長）
- 中山 莉彩（ヘルス・スペシャリスト）（モデレーター）
- 宮田 俊男（日本医療政策機構 エグゼクティブディレクター）（モデレーター）

5. 閉会の辞：NCD Alliance Japan の取り組み（12：25～12：30）

- 宮田 俊男（日本医療政策機構 エグゼクティブディレクター）

【主催】 HGPI Health and Global Policy Institute

特定非営利活動法人 日本医療政策機構（HGPI）

市民主体の医療政策を実現 べく 2004 年に設立されたシンクタンク。特定の政党、団体の立場にとらわれず、独立のシンクタンクとして、幅広いステークホルダーを結集し、新しい政策議論の場を提供してきた。グローバルな視点に立った医療政策に関する調査研究、政策提言、人材育成、情報交流、助成事業を実施し、持続可能でより豊かな社会の実現に向け、変革を促す原動力となることを目指している。

以上

ⁱ 国際糖尿病連盟、国際対がん連合、世界心臓連盟、国際結核・肺疾患連合の4つの国際連盟が設立した組織で、現在は170ヶ国以上2,000を超える市民社会組織が加盟し、「NCDによって引き起こされる、予防可能な苦痛、障害、死をなくすこと」をミッションに活動しています。